

少額の予算でも県民の願いに真摯に応えるきめ細やかな取り組み

県民の具体的な声にも真剣に耳を傾けるという県政の基本姿勢から生まれた事業をピックアップしてみました。生活現場の声や願いに真摯に応える事業、少額でも多くの人たちに喜んでもらえる事業など、「きめ細やかな事業」を私たちは大切にします。

<子どもをもつ親御さんのために>

ぎふ子育て応援ステーションの市町村への設置を支援(2,500)

ぎふ子育て応援ステーションが県内にもっとあったらいいねとの声に応えました。

- ・市町村担当者向けの子育て実践講座の開催や人材の紹介を行うことで、「ぎふ子育て応援ステーション」と同様の子育て総合相談窓口の市町村への設置を支援します。

地域子育て応援ステーション設置支援事業費(子ども家庭課)

子育てマイスター制度の創設による相談、一時預かりサービス等の提供(2,500)

育児に際していざという時、ちょっとした時に頼れる人が身近にいてほしいとの声に応えました。

- ・子育てサポーター養成講座修了者のうち、サポーターコースまで修了した人(約500人)や保育士等の有資格者を対象に「子育てマイスター」に認定し、個別の相談、子育て家庭に出向いてのアドバイス、一時預かりサービスなどを幅広く実施します。

子育てマイスター活用事業費(子ども家庭課)

県図書館利用者のための託児事業を拡充(1,057)

若い子育て世代を中心に利用が多く好評で、日数を増やしてほしいという声に応えました。

- ・乳幼児を持つ保護者が気軽に県図書館を利用できるよう18年度から開始した託児事業を週1日から、週2日に拡充します。

図書館利用者のための託児事業費(社会教育文化課)

ふれあい会館に乳幼児連れ来館者用駐車場を確保(ゼロ予算)

乳幼児を連れた利用者に対する駐車スペースがあるといいねとの声に応えました。

- ・県民ふれあい会館1階指定駐車場(空きスペース)に乳幼児を連れた利用者が駐車できるスペースを確保します。

(人づくり文化課)

授乳・おむつ替えができる施設を子育て支援ポータルに掲載し、PR(ゼロ予算)

行政などの子育てサービスだけでなく、普段利用できる便利な施設の情報してほしいとの声に応えました。

- ・子育て支援ポータル「ぎふ子育て応援団」に授乳・おむつ替えが出来る施設などを広く掲載します。

(子ども家庭課)

子育て世帯の住宅建設への利子補給を開始(1,560)

教育費など経済的負担が大きい子育て世帯の住宅取得に補助があるといいねとの声に応えました。

- ・2人以上子どもがいるなどの子育て世帯を対象に、住宅建設にかかる民間住宅ローンに対する利子補給を行います。

個人住宅建設資金助成費の内数(公共建築住宅課)

<これからお母さんになる人たちのために>

妊婦さんにやさしくしようキャンペーン(ゼロ予算)

妊娠中はからだや心がしんどくて誰かに助けてほしいものです、という声を反映しました。

- ・妊婦さんにやさしい社会づくり・人づくりを目指し、県民運動として、マタニティマークの普及、妊婦さんに配慮してほしいことのPRなどを行います。

(保健医療課)

プレママ保育園の取り組みの普及(ゼロ予算)

妊娠期から、子育てに関する相談や育児体験ができる身近な場所があったらいいなという声に応えました。

- ・身近な保育所を登録し、妊娠中の育児体験や、出産後の一時保育等ができる「プレママ保育園」の取り組みを進めるため、民間保育所の取り組みを支援し、その取り組み事例・効果を、市町村にPRします。

(子ども家庭課)

多治見病院に周産期医療部を設置(ゼロ予算)

安全・安心な出産のため、出産前後の母と子の健康をしっかりと守ってほしいという声に応えました。

- ・多治見病院に総合的に周産期医療を担う独立した部門を設置し、産科救急医療体制を強化します。

(医療整備課)

衛生専門学校助産学科の定員の増員

住みなれた地域で安心して子どもを産みたいという声に応えました。

- ・産科医師不足による助産師の需要増に対応するため、衛生専門学校助産学科の定員を15名から20名に増員します。

衛生専門学校助産学科定数(衛生専門学校)

<子どもたちの健やかな成長のために>

絵本の読み聞かせに関する保護者向け小冊子の配布(957)

読み聞かせ絵本選びに困ったとの声に応えました。

- ・絵本の読み聞かせの大切さや読み聞かせの方法など読書活動に関する具体的なアドバイスとともに乳幼児の年齢に応じた根強い人気のある絵本も紹介した小冊子を、乳幼児を持つ保護者に配布します。

新生児の保護者向け小冊子作成費(社会教育文化課)

「木づかい普及読本」の作成と読み聞かせ出前講座の開催(750)

木に親しむための教育を幼少期から行ってほしいという声に応えました。

- ・「木の国・山の国県民運動」の一環として、子供たちが、ふるさと岐阜県の森林や木の良さなどを理解できる「木づかい普及読本」を作成するとともに、木造住宅アドバイザーや県職員による出前講座を実施し、「木づかい」の普及啓発を進めます。

木の国・山の国県民会議 木づかい運動推進事業費の内数(県産材流通課)

県立文化施設の利用者に分かりやすい展示・解説(ゼロ予算)

子どもたちにも分かりやすい作品解説や子どもの目線でも見やすい展示であるといいねという声に応えました。

- ・高校生以下の無料化等に伴い、より一層親子や家族連れで鑑賞していただけるよう、子どもたちにも分かりやすいキャプションづくりや子供用鑑賞ガイドなどを作成し配付します。また、子どもたちや車椅子の利用者の皆様にも鑑賞しやすいよう、作品の提示構成や展示の高さなどにも十分配慮します。

無料化に伴う施設の受け入れ態勢の整備(社会教育文化課)

親子や家族で楽しめる県立文化施設(ゼロ予算)

美術館などで、鑑賞や体験学習以外にも家族連れで触れ合える場があるといいねという声に応えました。

- ・文化の日の無料開放では、県美術館の公園などで親子や家族連れが昼食をとるなど団樂の場としても施設を開放します。

無料開放に伴う受け入れ態勢の整備(社会教育文化課)

子どもの見守り活動のための「見守り誘導旗」を配布(1,000)

見守り活動を実施していただいているボランティアの方々と子どもたちを結ぶ安心のシンボルとして好評の誘導旗を増やしてほしいという声に応えました。

- ・子ども見守り活動を実施する防犯ボランティア団体を支援するための「見守り誘導旗」を配布します。

子どもを犯罪から守る総合対策費(警察本部)

子どもに「危険の認識と回避方法」を訓練する危険予知訓練指導者の養成(800)

子どもが被害者となる事件・事故が多発する中で、子どもへの防犯教育を重要とする声に応えました。

- ・子ども自らが安全に対する知識を持ち、「危険の認識とその回避方法」を習得できるよう訓練する指導者を養成するため、中濃・東濃・飛騨地域で研修会を開催し、少年団体活動をはじめとした地域活動等への普及を図ります。

岐阜県子ども危険予知訓練指導者養成事業費(男女参画青少年課)

中学生向け防災教育テキスト等の作成(1,100)

学校教育の段階から防災意識を高めるために防災教育用のテキストがほしいとの声に応えました。

- ・中学生の段階から防災意識の高揚を図るために中学生向けの防災教育テキストを作成するとともに、一般県民向けにも地震防災行動計画パンフレットを増刷・配布して意識啓発を進めます。

地震防災対策推進費の一部(防災課)

<弱い立場の方々のために>

音声機能障害者のための発声訓練事業を飛騨地域でも開催(950)

岐阜市まで足を運ばないので、飛騨地域でも開催してほしいという声に応えました。

- ・疾病等により咽頭を摘出し、音声機能を喪失した障害者の社会復帰を支援するための発声訓練の講習会を、現行の岐阜市に加え新たに高山市でも開催します。

音声機能障害者発声訓練事業費(障害福祉課)

難病相談・支援員を2名に増員

就労支援をはじめ、個々の要望に応じたきめ細かい相談に対応してほしいという声に応えました。

- ・難病患者の方々の声に応え、難病相談・支援員(専従)を1名から2名に増員します。

難病生きがいサポートセンター事業費(保健医療課)

快適にITを活用できる環境の整備(1,200)

誰もが利用しやすいホームページを提供してほしいという声に応えました。

- ・自治体や事業所等のアクセシビリティに関するガイドラインの策定、ガイドラインに基づく診断サービスを実施し、障害者など、誰もが快適にITを活用できる環境を整備します。

誰にもやさしいホームページ推進事業費(情報企画課)

身元保証人確保対策事業費(1,200)

円滑に社会的自立を果たすために、身元保証人を容易に確保したいという声に応えました。

- ・児童養護施設等を退所する子どもやDV被害等を受けた女性が就職やアパート等を借りることができるよう、施設長等が身元保証人となる場合の損害保険料に対して助成します。

身元保証人確保対策事業費(子ども家庭課)

<お年寄りの方々のために>

単身高齢者等の見守りを推進するためのネットワークの形成 (3,600)

地域から孤立した高齢者の死亡が増加している状況に対応しました。

- ・地域から孤立した高齢者や単身高齢者の孤立死防止に向けて、「地域から孤立しがちな高齢者世帯」の実情の把握や地域での支援体制を構築するための事業を推進します。

高齢者見守り推進事業費（高齢福祉課）

初期段階の認知症高齢者を介護する家族を対象とした講座を開催(1,094)

気づきの段階から認知症をもっと知っていれば一人で悩まず、介護の仕方も変わっていただろうという家族介護者の声を反映しました。

- ・初期段階の認知症高齢者の家族（20人程度）を対象に、家族間の交流会を通じ、認知症の理解、介護保険等サービスの利用方法や介護の仕方などについて、6回にわたる講座を開催します。

認知症支援普及啓発事業費（高齢福祉課）

<安全で便利なくらしのために>

地域住民による地域安全活動への支援の実施(2,300)

地域安全ボランティアの「活動しやすいよう支援を」という声に応えました。

- ・地域安全活動を実施しているボランティア等の経済的負担の軽減やさらなる活動意欲の高揚に結びつけていただくために、県に登録する団体に対してはユニフォームと腕章を配布するなど、ボランティアに対する支援を拡充します。

安全・安心まちづくり地域安全活動推進費（環境生活政策課）

多重債務110番の設置及び多重債務出張相談会の開催

消費生活相談窓口で多重債務に関する相談が多く寄せられていることに対応しました。

- ・県民生活相談センターを会場に、県弁護士会及び県司法書士会と連携し、多重債務について、面談及び電話による相談の受付を行います。また、県司法書士会と共催で、県内4圏域で「多重債務出張相談会」を開催します。

（環境生活政策課）

県立病院における電子カルテシステムを活用した医療連携の推進(ゼロ予算)

より充実した診療や治療を受けられるよう地域の診療所と病院の連携を進めてほしいという意見に応えました。

- ・県立三病院に導入した電子カルテシステムを有効活用し、県医師会等と連携しながら、電子媒体による診療に必要な情報を共有した病病連携・病診連携を推進します。

（医療整備課）

<生きがいある豊かなくらしづくりのために>

「県産品愛用推進宣言の店」PRポスターの作成

「県産品愛用推進宣言の店」をもっと県民に周知してほしいとの声に応えました。

- ・県産品の販売や、飲食の材料として県産品を積極的に活用するお店である「県産品愛用推進宣言の店」PRポスターを作製し、指定店に配布します。

（ぎふブランド振興課）

国際たくみアカデミーでの週末技能講座を開催(274)

身近な生活に役立つ技術・技能を身につけたいという声に応えました。

- ・県民の生涯学習への関心の高まりから、国際たくみアカデミー・木工芸術スクールで、週末にどなたにも参加していただける講座（刃物の研ぎ方・盆栽等）を開催します。

（労働雇用課）

アニメ制作・学習拠点の運営（3,200）

手軽にアニメ制作が楽しめる場所があったらいいなどの声に応えました。

- ・児童をはじめ主婦、お年寄など様々な年代層に関心が高いアニメ制作を体験しながら習得できる講座を開催します。

アニメ制作ワークショップ運営事業費（労働雇用課）

< 傷ついた動物たちのために >

傷病野生鳥獣の救護を開始（7,466）

傷ついた野鳥を県で保護してほしいとの声に応えました。

- ・岐阜大学と野生動物救護センターを共同運営し、怪我や病気で保護される野生鳥獣の治療及びリハビリを行います。

傷病野生鳥獣保護推進費（地球環境課）